



令和7年度 当初予算 記者会見資料

岡山県 真庭市 総務部財政課

令和7年2月13日

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

令和7年度 当初予算の概要

- 一般会計 当初予算計上額 **337** 億円 (対前年度比 2.7%減)
- 全会計 当初予算計上額 **540** 億円 (対前年度比 1.7%減)

※令和7年度当初予算は、4月に市長・市議会の改選を控えていることから、「骨格予算」として編成

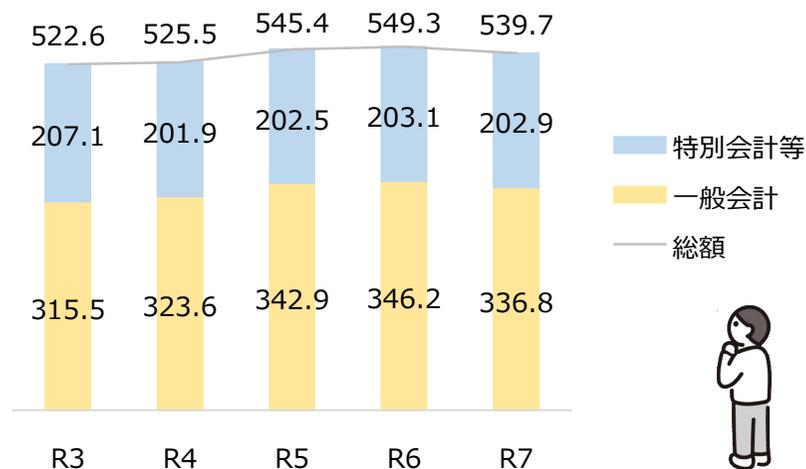
各会計予算額

(単位：百万円)

	R7当初	R6当初	比較増減	増減率
一般会計	33,677	34,618	△941	△2.7%
特別会計	12,514	12,491	23	0.2%
企業会計	7,781	7,819	△38	△0.5%
総計	53,972	54,928	△956	△1.7%

予算額の推移

(単位：億円)



令和7年度 当初予算編成の考え方

令和7年度当初予算は、急激に変化する経済・社会情勢や多様化するニーズに対応しつつ、デジタル化など時代の潮流を的確に捉え、地域価値を高めながら、永続的に発展する真庭市を目指すための予算として編成しました。

「第3次真庭市総合計画」に沿った事業に取り組む

多様なライフスタイルや価値観を互いに認め合い、市民が協働・共生することで、にぎわいにあふれる地域を実現するため、「第3次真庭市総合計画」を見据えた施策を推進します。

持続可能で健全な財政運営

あらゆる歳入確保策を講じるとともに、DXの推進等による歳出削減に取り組めます。

歳入確保：新しい地方経済・生活環境創生交付金の活用、ふるさと納税など

歳出削減：デジタル化、廃棄物処理施設集約化（旭水苑、2クリーンセンター）など

「人口減少対策」を最重要課題として位置づけ

少子高齢化に伴う人口減少対策として、こども子育て環境の整備や関係人口の創出など、積極的に挑戦します。

物価高騰に伴う経済対策

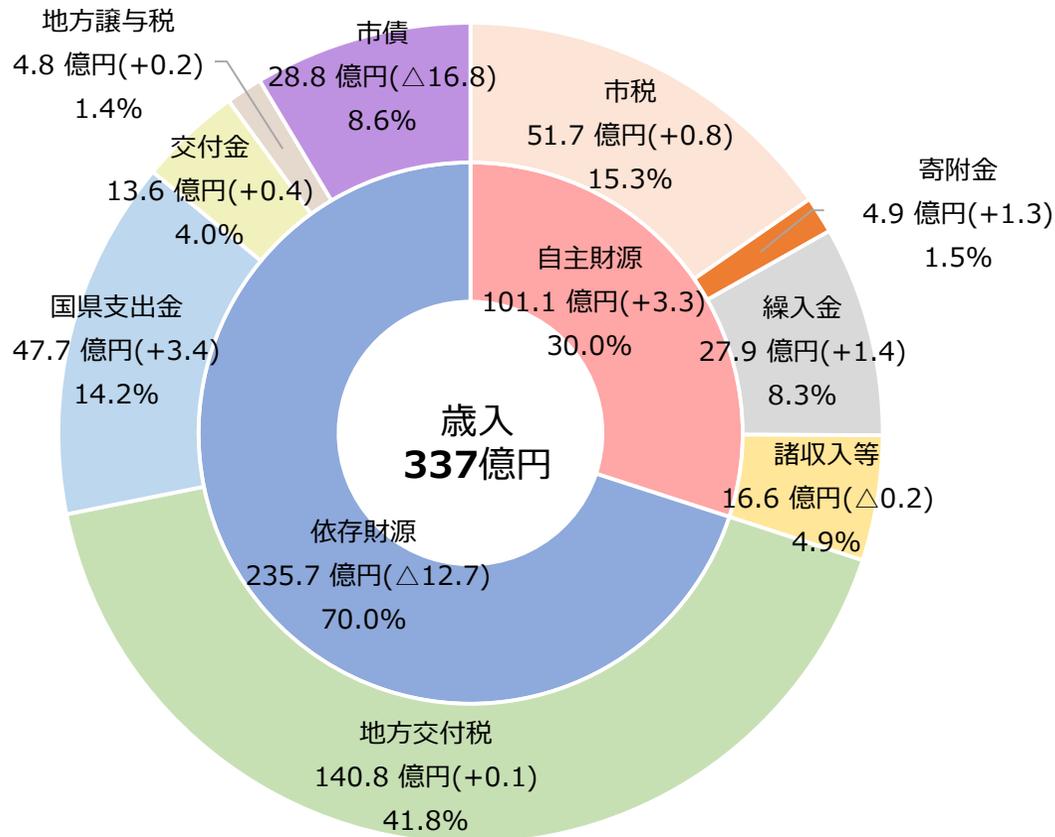
物価高騰の影響を受けた生活者や事業者などへの喫緊の課題に3月補正も含め、しっかりと対応します。

「骨格予算」として編成

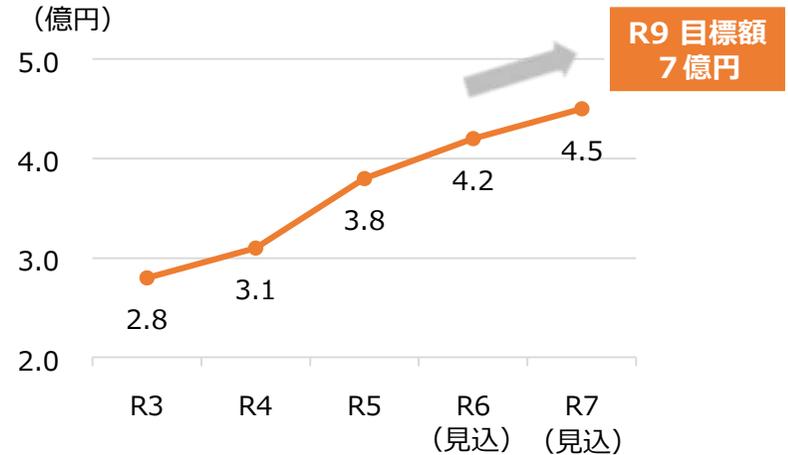
市民生活へ影響のある事業、国・県予算との整合が必要な事業、継続事業を中心に骨格予算としています。

歳入予算の内訳

歳入は、市税や繰入金などの自主財源が30.0%で、地方交付税や国・県支出金などに依存している状況です。前年度と比べると、歳入確保の取り組みとして、ふるさと納税などの寄附金は37.0%、1.3億円の増となっています。また、市債は、大型事業の終了に伴い36.8%、16.8億円の減となっています。



ふるさと納税寄附額の推移

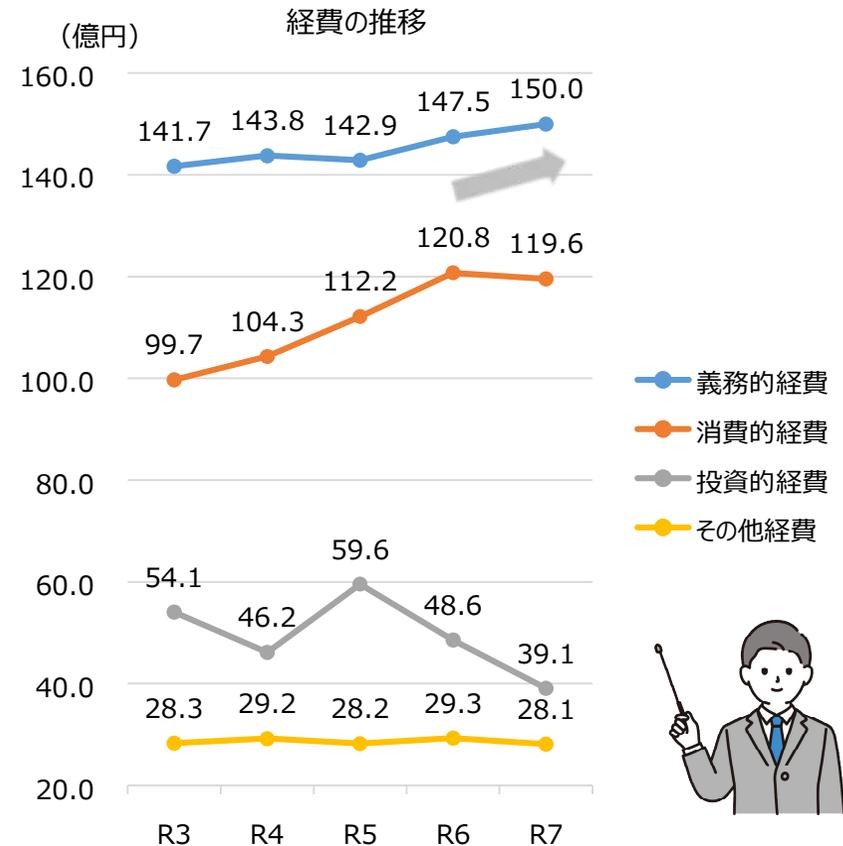
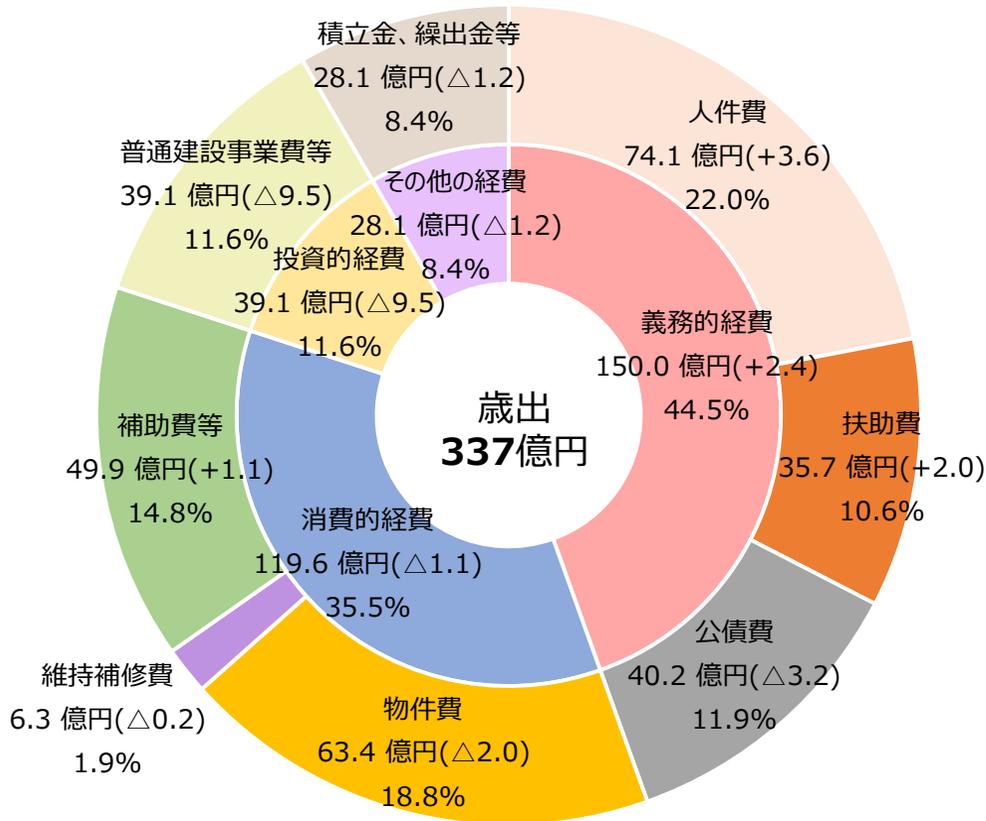


地方創生関係交付金の動き



歳出予算の内訳（性質別）

歳出は、人件費や公債費、社会保障関係費などの義務的経費が全体の44.5%を占め、1.6%増加した一方で、普通建設事業費等の投資的経費は、学習交流センター、バイオ液肥濃縮施設整備などの大型事業の終了に伴い、前年度と比べ全体で19.5%、約9.5億円の減となっています。



地方債の活用

- 令和7年度予算においても、将来世代への負担も考慮しながら計画的に活用することで、起債発行額は前年度当初予算に比べて16.8億円、36.8%大幅減の28.8億円となりました。
- 地方債残高は前年度に比べ10億円減の324億円となりました。

<R7 主な起債事業>

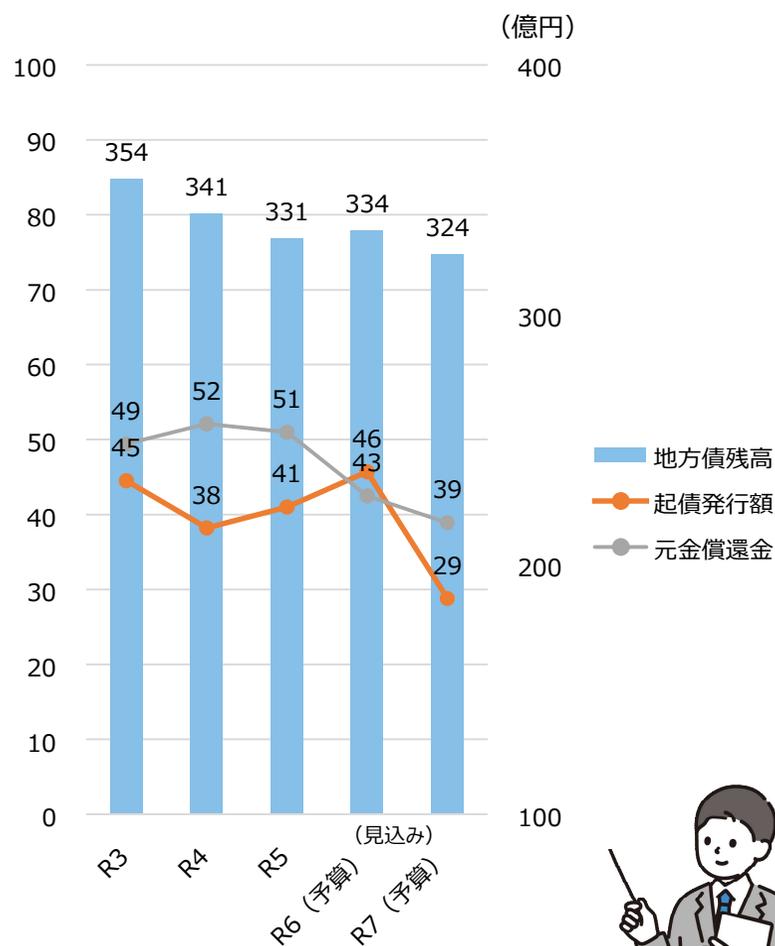
起債の目的	限度額（億円）
過疎対策事業	21.2
緊急自然災害防止対策事業	4.2
緊急防災・減災事業	1.9
デジタル活用推進事業	1.0

※合併特例事業 皆減（△14.9億円）

新 デジタル活用推進事業債 9,860万円

・デジタル技術を活用した行政運営の効率化・地域の課題解決等を目的にR7創設され、基幹業務システム標準化等に活用。

<地方債の推移（一般会計）>



基金の活用

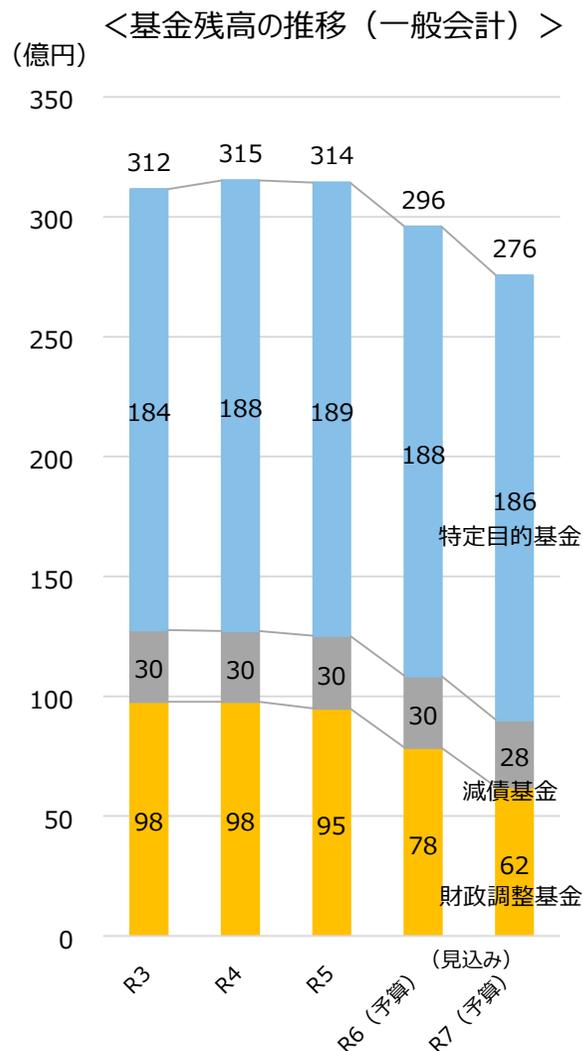
- 令和7年度予算では、高校魅力化やこども子育て関係経費など、未来へ投資するため11.2億円、財源不足への対応として財政調整基金を15.6億円など、基金取り崩し額は前年度当初予算に比べ1.5億円、5.6%増の27.9億円となりました。

<R7 主な基金の活用状況>

基金	取崩し額 (億円)
未来を担う人応援基金	1.3
振興基金	1.0
ゆめ学び創造基金	0.3



国庫補助金や地方債など、有利な財源を検討しながら、基金についても積極的に活用していきます。



特定目的基金	R7末残高 (見込み)
公共施設整備等基金 【財政課】	114.1
振興基金 【総合政策課】	36.7
未来を担う人応援基金 【総合政策課】	7.6
ゆめ学び創造基金 【総合政策課】	1.8
情報化施設整備基金 【秘書広報課】	10.9
学校施設整備基金 【教育総務課】	3.7
ふるさと真庭応援基金 【地域みらい創生課】	4.3
認定こども園等施設整備活用基金 【子育て支援課】	3.2
旧遷喬尋常小学校整備利活用基金 【スポーツ・文化振興課】	2.6
森林林業・木材産業活性化基金 【林業バイオマス産業課】	0.4
馬と人との共生基金 【スポーツ・文化振興課】	0.3

第3次真庭市総合計画

基本構想

2040年の目標

定住人口：32,000人

「多彩な真庭の豊かな生活（真庭ライフスタイル）の実現」

急激な人口減少のスピードを緩やかにし、たくさんの個性や文化、様々な「ひと」、資源にあふれた多彩な「まち」で、誰もが誇りと希望を持ち、共存し互いを尊重し合う生活があります。

「ひと」

様々な可能性に挑戦できる、多彩性を持つひと

「まち」

人やそれぞれの地域が持つ魅力を生かし、人を惹きつけることのできるまち

「市役所」

次の時代の基盤をつくり、「ひと」、「まち」、「市役所」のつながりから新たな価値を生む市役所

基本計画：5年間（R7～R11）

人口減少対策 （横断プロジェクト）

自然減対策：夢や希望をもって結婚し子育てできる真庭の実現

社会減対策：選ばれる地域づくりの推進

推進の柱

みんなではぐくむ
子育てのまちの
実現

安心とつながり
の中で人が育つ
まちづくり

支え合い いきい
きと誰もが活躍
できる真庭

安心して暮らし
続けることができ
る真庭

にぎわいにあふ
れ豊かさを実感
できる真庭

回る経済と脱炭
素への挑戦

みんなではぐむ子育てのまちの実現

出生率を向上させていくためには、仕事と家庭や私生活の両立を図ることや私生活の充実を支援し、育児負担を軽減を図ることなどが重要であり、その実現に向け、「みんなではぐむ子育てのまち」を目指し、保育や子育て環境の整備に取り組んでいきます。

子育て環境の整備

久世第二こども園（仮称）整備工事 7億2,426万円

【子育て支援課】

- ・老朽化した保育園2園を機能集約した新しいこども園を真庭高校久世校地跡地に整備（R6設計）
- ・就労形態の多様化、様々なニーズに対応し、子育て環境の充実へ

【機能強化するポイント】

- * 0歳保育室・トイレ等、一時保育室の確保
- * 地域子ども・子育て支援スペースの確保
- * 医療的ケア児の受入
- * 久世こども園、米来こども園への給食配送可能な調理施設



こどもはぐみ応援事業 857万円 【子育て支援課】

- ・子育て施策推進のためのアドバイザー導入、こどもまんなかまつり開催、子育て世代へのプロモーション（情報発信）



給食★地産地消

地産地消の推進 600万円 【教育総務課】

- ・年3回真庭食材の日を設定
- ・年6回特産品1品を加える
プラスワンの日を設定



シカ肉のキーマカレーほか

学校給食費の支援 2,909万円 【教育総務課】

- ・給食費高騰に対応するため、保護者負担を据え置き、差額を支援することで、保護者負担を軽減します。

【学校給食1食あたり単価推移】

	給食費		真庭市 支援	保護者負担額	
	小学校	中学校		小学校	中学校
R4	270円	310円	0円	270円	310円
R5	290円	330円	20円	270円	310円
R6	290円	330円	20円	270円	310円
R7	320円	360円	50円	270円	310円

保育所等給食材料費支援 1,777万円 【子育て支援課】

- ・公立こども園、私立園、事業所内保育所、認可外保育施設に対しても給食費を支援します。

安心とつながりの中で人が育つまちづくり

出生率の向上にとどまらず、転入数の増加と転出数の抑制を図るためには、教育やスキル開発の強化を通じて地域とつながることが重要であり、こどもだけでなく社会人を含めた教育の充実強化を図っていきます。

高校生の多様な学びの応援

高校魅力化パッケージ 総額 **5,207万円** 「ゆめ学び創造基金繰入金」 3,225万円活用

< 主な事業 >

新 短期海外留学への支援 900万円【教育総務課】
・異文化体験や国際交流を通じて多様な価値観に触れ、高校生が視野を広げ、新たな挑戦を踏み出す契機を創出。

郷育魅力化コーディネーター 1,377万円【教育総務課】
・地域資源を生かした教科学習、探究的学習活動等に向け、学校と地域をつなぎ、教育環境の充実と積極的な情報発信を推進

社会起業家育成プログラム 451万円【産業政策課】
・高校生を対象に、身近な課題をビジネスで解決するプロセスを通じて未来の産業人材を育成。

高校生チャレンジ支援事業補助金 150万円【産業政策課】
・高校生が考えたアイデアの実践を後押し（10/10上限10万円）
・プログラミング、デザインなどの講座費用を支援

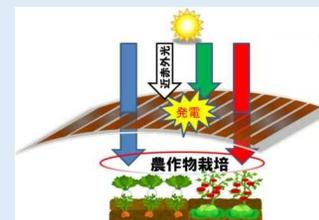


竹林での探究活動



全国高校生ビジネスアイデアコンテストで「最優秀賞」を受賞した竹パウダー

最先端農業OSC実証 186万円
【農業振興課】
・真庭高校と大阪大学が連携し、緑色波長選択型有機太陽光電池（OSC）を用いて夏野菜のハウス栽培実証等を行う



教育の推進

遷喬小学校改修工事 1億8,220万円（1期工事のうちR7年度分）
【教育総務課】

- ・内部大規模改修工事（高断熱化、LED化、床・間仕切り・暖房改修、特別支援教室増設等）
- ・1期工事：4億5,690万円（債務負担行為R7-8）
- ・2期工事：外構改修工事（R9）
- ・3期工事：外装長寿命化改修工事（R11-12）

支え合い いきいきと誰もが活躍できる真庭

地域コミュニティの強化や共生社会を実現するため、地域住民がまちづくりに関与できる機会の提供や仕組みの構築、女性が活躍できる地域づくりなどに取り組んでいきます。

女性が輝く社会の実現

新 **女性活躍キャリア開発事業** 2,171万円 【産業政策課】
・デジタルスキルを習得し、女性が働きやすい環境を整備するため、企業に対するニーズ調査や経営層に対する意識啓発を行う。

新 **男女が共に輝く社会推進事業** 623万円 【くらし安全課】
・市民アンケートをもとに、専門家による分析や客観的な評価を行い、女性活躍、少子化、ジェンダー平等などの課題にも対応する第5次男女共同参画基本計画を策定。
・講演会や研修会等の開催を通じて、啓発や情報発信を行い、市民の意識醸成につなげる。



コミュニティの維持

地域振興事業 4,546万円 【地域みらい創生課・各振興局】
・人口減対策を地域の実情に応じてきめ細かく迅速に行うため、振興局に権限と責任を付与し、地域に根ざした事業を展開

地域共生社会の実現

デジタル地域通貨「まにこいん」普及促進事業 1億3,818万円
【総合政策課】

・AIを活用したプッシュ型機能搭載、交流・社会応援プラットフォーム構築、銀行口座チャージ拡張、地銀×企業版ふるさと納税仲介サービス

新 **いきいき活動ポイント事業** 32万円
【高齢者支援課】

・介護施設内外の清掃などをサポートする方に「まにこいん」を付与し（500P t/回）活動を支援



戦後80年 ～平和の価値を見つめ直そう～

核兵器廃絶・平和推進事業 132万円 【総務課】
・ヒロシマ平和学習参加（親子10組）
映像製作・特番放送



蒜山戦争遺産小学生見学 103万円 【生涯学習課】
・市内の子ども達が身近に残る蒜山の戦争遺跡を見学し、平和について考える学習を支援（年5校×4年間実施）

安心して暮らし続けることができる真庭

障がいのある方や高齢者にとって、安全・安心な生活環境の整備は重要であり、障がい福祉サービスの充実や予防医療の推進、医療アクセスの向上、健康教育の拡大、インフラ（交通、防災等）の整備などに取り組んでいきます。

安全安心なまちづくりの推進

新 災害時孤立可能性集落対策事業 847万円

【危機管理課】

- ・災害時孤立集落に対する物資の緊急輸送体制を構築。
- ・初年度として、ドローンによる検証飛行（2箇所）を実施し、3年間でドローン運用体制とノウハウを段階的に蓄積。



新 救急安心センター事業（#7119） 68万円

【健康推進課】

- ・急なケガや病気について救急車を呼ぶ前に、医師や看護師などの専門家に電話で相談できる体制を整備。岡山市など4市3町の岡山連携中枢都市圏事業として実施。

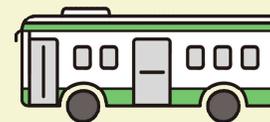
地域公共交通の維持・確保

JR利用促進事業 672万円 【くらし安全課】

- ・株主優待券を活用した「親子で社会見学ツアー」、JR姫新線利用促進イベント（駅前エコマルシェ）、パーク&ライド標示作成、JR姫新線団体利用補助金など

バスロケーションシステム更新 281万円 【くらし安全課】

- ・リアルタイムで運行状況を確認、運行管理日報のデジタル化等



地域福祉の推進

新 带状疱疹ワクチン定期接種 1,423万円 【健康推進課】

- ・65歳以上（特定の障害のある方は60歳以上）が対象。不活化ワクチンの場合 自己負担1万円

介護人材確保推進事業 227万円 【高齢者支援課】

- ・介護職員等資格取得支援 補助率1/2（上限6万円）など

看護師等育成奨学金 978万円 【健康推進課】

- ・月額5万円×最大5年間貸付、貸付期間と同じ年数を市内医療機関で勤務した場合は返還免除

にぎわいにあふれ豊かさを実感できる真庭

転入数を増加させ、転出数を抑制するだけでなく、市民が真庭ライフスタイルを実現していくためにも、にぎわいの創出や豊かさを実感できることが重要であり、住環境の改善や地域の魅力向上などに取り組んでいきます。

住環境の整備

空家活用推進事業 7,089万円 【まちづくり推進課】

- ・空き家対策計画の改訂
- ・空き家購入補助 取得費の1/3 上限80万円
- 拡** 空き家改修補助 改修費の1/3 上限80万⇒**100万円**
- ・家財道具撤去補助 経費の3/4 上限20万円
- 拡** 定住支援団体奨励金 認定空き家の入居契約3万⇒**10万円**
- ・空き家除去補助 経費の1/3 上限50万円

持続可能な魅力あるまちづくりの推進

まにわ地域共創拠点推進業務

1,200万円

・真庭高校久世校地跡地の利活用として、多世代交流や産業振興、人材育成の拠点とするため、既存校舎等を改修、管理運営する運営組織の設立、施設の運営計画を策定



文化を楽しめる環境の整備

旧遷喬尋常小学校校舎整備・活用事業 3,745万円

【スポーツ・文化振興課】

- ・破損状況や実測調査など各種調査工事
- ・大改修に向けたプロモーションやイベント実施等

新 指定文化財補修補助金 1,901万円 【生涯学習課】

- ・真庭市重要文化財(建造物)である普門寺仁王門を保存修理するための補助(事業費の1/2)

山中一揆300年に向けて 50万円 【生涯学習課】

- ・令和8年(2026年)に山中一揆が起こった享保11年(1726年)から300年の節目の年を迎えます。R7年度は現存する手書き資料等のデータ化を行い、次の世代に歴史を引き継いでいく。

移住定住の促進

交流・定住推進事業 6,437万円 【地域みらい創生課】

- ・UIターン奨励金 **新** 引っ越し費用の1/2補助(単身:上限5万円、家族:上限13万円 子育て加算等有)
- ・二拠点居住(家賃補助)最大2.5万円/月
- ・関西圏プロモーション、里山留学、真庭なりわい塾、SDGs ツアー

回る経済と脱炭素への挑戦

活力あるまちづくりを進めていくためには、真庭の強みを生かした地域産業を活性化させるとともに、環境分野での新たな産業創出を図ることが重要であり、「回る経済と脱炭素への挑戦」を掲げ、経済的な可能性の拡大や地域の魅力向上などに取り組んでいきます。

農業の活性化

新 畜産バイオマス発電施設支援事業 541万円 【農業振興課】

・新たな循環型農業の推進として家畜排せつ物を活用したバイオマス発電のモデルプラントを(公財)中国四国酪農大学校と協力して実施するための負担金。将来的に循環型の畜産経営を地域内外へ普及させていくことを目指し、R7は基本設計・測量等を実施。



畜産バイオマス発電施設 イメージ
(北海道興部町)

新 真庭版農業支援サービス構築事業 4,969万円 【農業振興課】

・JA等の関係機関や農業に関連する民間事業者の役割を補完し、人口減少に対応した真庭の農業を実現・サポートするための新たな事業体のR8年度の設立に向けて、企業から人材を受け入れながら、必要なプラットフォーム導入、事業(※)の具体化等を図る。

※ 農作業の受委託のマッチングや農業用機械のシェアリング、中山間地域の農業を支援する交付金等の事務支援といった「生産」のサポートのほか、飲食業・卸売業者等のTOB向けの真庭の農畜産品・加工品の販路開拓といった「販売」のサポート等を想定



観光地域づくりの推進

新 観光戦略改訂に向けた大学連携 250万円 【産業政策課】

・R8年度の観光戦略策定に向けて、包括連携協定を結ぶ和歌山大学観光学部と連携し、教授や学生を招いてワークショップを開催

新 アートを通じた広域連携 250万円 【産業政策課】

・アフター森の芸術祭として倉吉市や新見市、高梁市等と広域連携によるアートを通じたイベント等を開催

観光人材創出支援事業 486万円 【産業政策課】

・おもてなし観光人材育成事業を発展させ、観光事業者の個々のブランディング、マーケティングを伴走支援し、次世代観光地域人材の創出を目指す

新 大阪・関西万博 茅産地連携ブース運営

1,232万円 【産業政策課】

・万博の茅葺パビリオン(EARTH MART)に茅を提供する真庭・阿蘇・近江八幡の3地域が連携し、万博内の催事施設(フェスティバル・ステーション)にてトークセッション、展示・ワークショップ等のイベントを実施



EARTH MART イメージ
(小山薫堂氏プロデュース)

(単位：千円)

森林・林業の活性化

公有林整備事業 1億7,458万円【林業・バイオマス産業課】

- ・市有林の健全な保安全管理として、植栽や下刈り、間伐や主伐再造林等を計画的に実施。
- ・市有林を核とした持続可能な森林経営を目指して、地元林業事業者とさらなる連携強化を図るための協定を締結し、協業に向けた具体策を検討する。
- ・若手経営者を中心とした将来の木材業界のあり方を考える勉強会などの機会を創出。



脱炭素・循環型ライフスタイルの構築

カーボンニュートラル推進事業 1,741万円【地域エネルギー政策課】

- ・太陽光発電設備、高効率給湯器、EV等次世代自動車の導入に対する補助 **拡** (新たに蓄電池、断熱窓へも拡大) と普及啓発。
- (補助率) 太陽光発電設備、高効率給湯器：購入費等の1/2
- 次世代自動車：国CEV補助金の1/2
- 蓄電池、断熱窓：購入費等の1/10



生ごみ分別普及啓発等推進事業 1,550万円【環境課】

- ・事業所から出される生ごみの分別実証



「森林林業・木材産業活性化基金」の使途

森林整備	作業道の新設支援 再造林に関する支援	12,000
	経営管理制度意向調査 山守協定の運用	9,863
	高性能林業機械導入支援 広葉樹・早生樹の活用	75,152
	林道・作業道維持補修強化	19,882
	林業DX化の促進支援 森林整備設計委託	26,719
	有害鳥獣による 新植苗の食害を防ぐ	11,225
木材利用	リフォーム支援 新築木造住宅支援	38,307
	広葉樹活用拡大実証	7,700
	公共施設の木造化 ※木橋更新など	446
人材育成	担い手確保支援 資格取得支援等	1,531
計		202,825

市制20周年事業

新 市制20周年記念事業 325万円 【秘書広報課】
・記念式典等を開催し、未来を展望し行動する決意や、市への愛着や誇りなどの醸成を図る

市制20周年記念誌製作事業 1,137万円 【秘書広報課】
・これまでの歩みを振り返り、歴史を記録し発信(R6～7)

記念映像制作・講演会等 425万円 【スポーツ・文化振興課】
・市の自然・文化・風土を伝え、芸術性の高いプロモーション映像を制作
・宇宙アサガオ、宇宙桜に関する講演会や特別授業等
・周囲の自然的環境と調和した彫刻作品の展示



物価高騰に伴う経済対策

給食費の支援（再掲） 4,686万円 【教育総務課・子育て支援課】
・学校、こども園関係に、高騰する給食材料費に対応し、給食費を支援

高効率給湯器・断熱窓の支援 580万円 【地域エネルギー政策課】
（再掲・カーボンニュートラル推進事業）
家庭でのエネルギー負担を軽減するための支援
（補助率）高効率給湯器：購入費等の1/2（上限5万円）
断熱窓：購入費等の1/10（上限5万円）

定額減税補足給付金事業 2億5,970万円 【税務課】
・R6年度に給付を実施したが、定額減税の実績が判明し、不足する場合に追加給付を行う。

【今後の経済対策】
3月補正予算で
計上予定